

平成19年2月22日

産業廃棄物不法投棄について

岐阜市産業廃棄物不法投棄対策本部

1 燃焼ガス発生状況調査等について

担当：問い合わせ先 場内：環境事業部産業廃棄物特別対策室（内線 6276）
場外：人・自然共生部大気自然室（内線 6431）

燃焼部分を特定し、消火対策等の支障除去等事業に資するため、燃焼ガス発生状況調査、熱源解析及び場内・場外の大気環境調査を実施しましたので、その結果（速報）について以下のとおり報告します。

(1) 燃焼ガス発生状況調査

ア 調査年月日 平成18年12月27日～平成19年1月10日
イ 調査地点（資料1 地点図） 最上部を中心とするボーリング孔22か所
ウ 調査項目 酸素、一酸化炭素、ダイオキシン類等15項目
エ 調査結果（詳細なデータは資料2 のとおり）

燃焼ガスは、b-31に大きく現れており、第1回目の調査結果と同様に、b-31の周辺での燃焼が裏付けられた。

(2) 熱源解析

ア 調査年月日 平成18年10月（現地調査）
イ 調査地点 浅層温度調査：302か所（最上部、斜面10mメッシュ）、ボーリング孔内温度調査：13本

ウ 調査結果（資料3 図のとおり）

燃焼部分はb-31の周辺に、地表下10m～35mの範囲で存在することが推定される。

(3) 大気環境調査（場内・場外同時測定）

ア 調査年月日 平成19年1月9日～1月10日
イ 調査地点（資料4） 場内：県道側斜面（焼却炉横）1か所
場外：ゆりかご幼稚園、善商北側敷地境界の2か所
ウ 調査項目 場内：窒素酸化物、二酸化硫黄、ダイオキシン類等9項目
場外：窒素酸化物、二酸化硫黄、ダイオキシン類等7項目

エ 調査結果（詳細なデータは資料5 のとおり）

場内・場外とも、ダイオキシン類を含め、すべての項目で環境基準等を満たしており、燃焼ガスの影響は認められなかった。

(4) 総括

熱源解析の結果、温度分布は別添断面図のとおりで、燃焼ガス発生状況調査結果と合わせると、明らかに燃焼していると思われる100℃以上の部位はb-31の周辺にあることが裏付けられた。

b-31の周辺ボーリング孔では、燃焼ガスが若干認められ、廃棄物層の空隙により周辺廃棄物層に拡散していることが推定される。

ただし、場内・場外の大気環境調査結果からは燃焼ガスの影響は認められないことから、燃焼ガスのほとんどが覆土やボーリング孔の密栓により廃棄物層内に封じこめられており、周辺大気環境に影響を与えていないと思われる。